

史跡九戸城跡追加指定

記念講演会

令和5年 2月18日(土) 13時30分～15時



参加無料 定員60名 要申込

記念講演

史跡九戸城跡の価値と
史跡の保存・活用の展望

講師

文化庁文化財第二課
史跡部門文化財調査官

野木雄大氏

日程		
13:00～	受付	付会 会会
13:30～	開演	
13:40～	講演	
15:00～	閉演	

会場

二戸市シビックセンター
1階・ホール

岩手県二戸市石切所字荷渡6-2 TEL.0195-25-5411

主催 二戸市教育委員会
後援 九戸城を活かす会、岩手県教育委員会、岩手県北広域振興局、
(一社)岩手県文化財愛護協会、岩手考古学会、二戸地区文化調査委員連絡協議会

申し込み・問い合わせ先

二戸市教育委員会 文化財課 TEL.0195-23-8020



在府小路遺跡は、史跡九戸城跡に付属する家臣団居住地（侍屋敷）です。近世に編纂された邦内郷村志、北奥路程記にその名が見え、南部信直の時代に家臣を住ませたと記されています。

二戸市教育委員会では、平成6年から内容を確認する発掘調査等を進めてきました。調査の結果、当時の地割りを良く残しており、屋敷地に伴う敷石状遺構が確認されています。

このことから、在府小路遺跡は九戸城跡の改修後から（福岡城に改修してから）、廃城までの状況（城域）を明らかにする遺跡と評価されます。

この度、追加指定を受けた在府小路遺跡について、あらためて考えてみます。

